

経済建設常任委員会 視察研修報告

視察日

平成 26 年 10 月 30 日～ 31 日

視察先

・群馬県吾妻郡長野原町
八ッ場ダム

・群馬県吾妻郡中之条町
中之条町役場

視察目的

・八ッ場ダム事業概要及び再生可能エネルギーの導入と利活用に関する研修

視察内容

1 日目は、長野原町の八ッ場ダムで事業概要等の説明を受けました。現在、ダム建設は9割方でき上がっており、後は水をせき止める段階まで進んでいます。

八ッ場ダムの役割として、一つ目は洪水から暮らしを守るがあります。大雨などによって、川が増水したときに、大量の水を貯め

こむことにより、下流の茨城県、埼玉県、千葉県、東京都など首都圏の洪水が軽減されます。二つ目として増え続ける水需要を支えることです。産業に、生活にと大量の水を必要とする下流部の首都圏での安定した水利用が可能となります。ダムが完成することにより、今まで不安定だったものが解消され、治水及び利用水上極めて重要な施設であると感じました。



八ッ場ダム事業概要の説明

2 日目の中之条町では、再生可能エネルギーの導入と利活用について研修しました。中之条町では、平成 17 年「中之条町環境にやさ

しいまちづくり」宣言、そして、平成 25 年には「再生可能エネルギーのまち中之条」宣言をし、再生可能エネルギーによるまちづくりを進めています。

近年では、地球温暖化の影響による気候変動、自然災害及び動植物の生態系の変化などによって、生活環境が脅かされ、また、東日本大震災による甚大な被害やこれを起因とした原子力発電所の事故により、今後のエネルギー施策の在り方が問われています。

そこで、中之条町では、持続可能な循環型社会を構築し、地球温暖化防止や低炭素社会の実現のため、太陽光、小水力、バイオマス、地熱及び風力等の再生可能エネルギーを積極的に活用することによって、自然環境への負荷を抑え、同時に電力の地産地消等の取り組みを通じて活力のある住みよいまちづくりを進めています。



中之条町太陽光発電所

平成 25 年度には町内 3 カ所でメガソーラー発電が稼働し、町内で発電した電気を売買するために、平成 25 年 8 月、一般社団法人「中之条電力」を設立しました。買い上げた電気は、当面役場や小中学校などの公共施設に供給するそうです。
東日本大震災以後、災害時に自立できる電力供給体制を確立することは、どの地域にとっても深刻な問題です。本村においてもメガソーラー事業が進行中であり、先進的な取り組みをしている中之条町の事例を参考にし、より良いものにしていかなければと感じました。